

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称 : 除菌習慣+C

供給者情報詳細

供給者 : 有限会社アール・ステージ

住所 : 大阪府中央区北浜1丁目1番10号4階

電話番号 : 06-6926-4630

FAX : 06-6926-4631

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2B

発がん性:区分 1A

生殖毒性:区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 特定の物理的及び化学的危険性
- 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
エタノール	50 - 60	64-17-5	2-202
水	40 - 50	7732-18-5	-
食品・食品添加物	< 1	-	-

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

- 防火服や耐火服を着用する。
- 断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

二次災害の防止策

- 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- すべての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
- 漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
- 関係者以外は近づけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

安全取扱注意事項

- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 換気のよい場所で使用する。
- 必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。
- 直射日光を避ける。
- 冷暗所にて保管

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(エタノール)

ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

- 換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋および保護衣を着用する。

顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：無色～黄色液体

pH：4.0 - 6.5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：≥78°C

引火点：≥23°C

比重/密度: 0.8977(20°C)

溶解度

水に対する溶解度：水に可溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

予期される通常の保管および取り扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

cat.1A; (ACGIH 7th, 2012; IARC, 2010)

(エタノール)

IARC-Gr.1：ヒトに対して発がん性がある

(エタノール)

ACGIH-A3(2008)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
麻酔作用 (PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
肝臓 (DFGOT vol.12, 1999)

[区分2]

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
中枢神経系 (HSDB, Access on Jun. 2013)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)

水生毒性(長期間) 成分データ

[日本公表根拠データ]
(エタノール)
甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)

水溶解度

(エタノール)
混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(エタノール)
急速分解性あり (BODによる分解度:89%(既存点検, 1993))

生体蓄積性

(エタノール)
log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 1170

正式輸送名 :エタノール又はエタノール溶液
分類または区分 : 3
容器等級 : III
指針番号: 127
特別規定番号 : 144; 223

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 1170
正式輸送名 :エタノール又はエタノール溶液
分類または区分 : 3
容器等級 : III
特別規定番号 : 144; 223

IATA 航空危険物規則書

国連番号 : 1170
正式輸送名 :エタノール又はエタノール溶液
分類または区分 : 3
危険性ラベル : Flamm.liquid
容器等級 : III
特別規定番号 : A58; A180

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)
エタノール
有害でない物質(OS類)
水

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品
有機溶剤等に該当しない製品
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
エタノール
名称通知危険/有害物
エタノール

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

(本品はエタノールを含有するが、濃度が60重量%未満の為、消防法上の危険物には該当しない)

消防法に該当しない。

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

環境有害性

適用法規情報

アルコール事業法
食品衛生法: 食品添加物

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。